

# 母

伊藤 節子 原詩  
ささい はるみ 編詞  
神野 和博 作曲

Am Bm7-5 E7 Am Em F Bm7-5 E7

6 Am G C Bm7-5 E7 Am

しろい—まどべに—あさ ひが—のぼり ひざしの—なかによこた わる—  
ねつや—いたみの—な—い—ひには おふるの—すきなかあさん—の—

10 Bm7-5 Am E7 Am To Coda G C

ちいさく—な—った わたしの かあさん ひとり—ぐらしで がん  
せなかを—ふ—いて あ—しげ—ま—しょう う

14 G7 C Dm F E7

ば—って— いきて—きた—かあさんの—とつげんの—にゆういん

18 Am E7 Bm7-5 E7

21 G C G7 C Dm F E7

かぼそい—こえでよろこんで— つきそう—むすめにえがおを みせる

26 Am G F G7 C

い えに かえり たいと— くりかえし— ながら

30 Dm F Bm7-5 E7 Am

とお—くに—いってしまっ—た—けれど いまは かなしみよ

34 F E7 Am

り なつかしい かあさん

白い窓辺に 朝日が昇り  
陽ざしの中に 横たわる  
小さくなった 私の母さん

ひとり暮らしで 頑張って  
生きてきた母さんの 突然の入院

熱や痛みのない日には  
お風呂の好きな 母さんの  
背中を拭いてあげましょう

か細い声で喜んで  
付き添う娘に 笑顔を見せる  
「家に帰りたい」と繰り返しながら  
遠くに行ってしまったけれど  
今は  
悲しみより 懐かしい母さん